

令和5年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	3 学年 選択	教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位 数	6
教科書		改訂版 数学Ⅲ (数研出版)		使用教材	サクシード (数研)		

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	第3章 関数 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	<ul style="list-style-type: none"> 分関関数、無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。また、合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。 数列や無限級数の収束、発散を調べ、極限を調べることができる。 数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用する。 	4 2
	期 末 考 査	第5章 微分法 第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 速度と近似式	<ul style="list-style-type: none"> 関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。 三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。 導関数を用いていろいろな曲線の接線の方程式を求められる。 いろいろな関数の値の増減、極大極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかき、それらを事象の考察に活用する。 	4 8
二 学 期	中間 考 査	第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第8章 積分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> 積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 不定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分を計算できる。 面積・体積・道のりを、定積分を用いて求めることができる。 	4 2
	期 末 考 査	第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 2次曲線を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。 直交座標と極座標の関係に興味関心を持ち、相互の関係を考察する。 数学Ⅲの入試問題演習 	4 8
三 学 期	学 年 末 考 査	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 数学Ⅲの入試問題演習 	3 0
	計			2 1 0

評価の 観点・方法	年間4回行う考査と授業内で行う課題等の提出状況および授業態度等を総合的に判断して評価を行う。
--------------	--